いわき民報
発行所　いわき民報社
平市田町一番地（電話三八一番）
人行発兼印刷人　千葉克己
定價一ヶ月金壱円壱拾銭
紙代共部数一部一銭

本紙講讀申込所
平市田町一番地　電三八一　いわき民報社
平市白銀町　電八八四　平新聞共販第一配給所
平市田町　電五三二　平新聞共販第二配給所

當選者決定

婦人代議士も二名生る

新日本建設の形式上の第一歩たる總選擧も全く終了した、政黨分野は自由黨四、進歩黨六、社會黨二（黨友一名含む）無所屬一名と落付いた、かくて供託金没收組が四十一名にも達した事は文字通り無方針の候補亂立によるものであり又一般の觀測を裏切つて三名の婦人候補の進出目ざましく中見事に柳原、山下の兩女史が堂々六位と八位を以つて初の女代議士の榮冠を獲ち得たことは、社會黨が黨友一名を加へ二名を當選せしめたことゝ共に民主日本のため、民主福島の首途のために万丈の氣を吐いたものとして特筆大書さるべきであらう

當選　七六、五八五　圓谷光衛（自新）
當選　六〇、一〇九　鈴木義男（社新）
當選　五八、九四四　荒木武行（進新）
當選　五四、二四四　中野寅吉（自元）
當選　五一、四八四　太田秋之助（進新）
當選　五〇、二八四　柳原千代（社新）
當選　四九、七三二　林平馬（無新）
當選　四八、四一二　山下春江（進新）
當選　四五、九五三　大内一郎（自新）
當選　四五、六四〇　加藤宗平（自再）
當選　四二、〇五〇　村井八郎（進新）
當選　四〇、六一九　鈴木周次郎（進新）
當選　四〇、二七〇　星一（進再）

【次点】
四〇、一四一　八百板正（社）
四〇、〇三二　關内正一（自）
三八、六〇四　渡邊鐵太郎（進）
三七、六三二　佐藤善一郎（進）
三六、八三三　佐藤元治（進）
三六、五七七　古川傳一（進）
三二、〇八五　齊藤晃（養正）
三一、〇六二　志田ヒデ（社）
二九、八三七　大野長治（進）
二九、五四一　原孝吉（進）
二八、七五五　大和田義榮（自）
二八、二七四　佐伯健（社）
二八、〇六七　大越軍三（進）
二七、九三九　小丸善雄（進）
二七、四五〇　鈴本傳明（無）
二六、四〇四　菅家喜六（無）
二五、五一九　蓮沼龍輔（進）
二五、〇八五　安部吉太郎（自）
二四、七九六　二瓶謙二（自）
二三、五六三　小松良基（進）
二三、四八九　岡部文侯（農本）
二二、三四三　佐々木莊治（進）
二二、二二三　松井政吉（社）
二二、二〇八　高久清一（社）
二〇、三八七　大井川幸隆（社）
一九、六一七　川田昌孝（進）
一六、二七四　高木松太郎（共）
一三、四二六　宗像德彌（無）
一三、一〇一　苅宿俊風（自）
一二、八六九　川原宏（無）
一二、六〇三　神長倉豊（日農）
一二、三〇〇　鵜川千里（無）
一二、二一八　日野定利（共）
一一、一四三　矢部周（無）
一〇、七六二　大井川五郎（日青）
一〇、六七二　三上秀雄（自）
九、九六五　遊佐喜市（無）
九、九〇八　山口慶吾（青國）
九、八五六　青澤國雄（共）
九、七〇五　新田亮（新日本）
九、三八〇　折笠藤雄（青國）
九、一五六　平田一郎（農本）
九、〇一〇　山森榮三郎（自）
八、九五四　渡部房雄（協）
八、二八四　藤原肇（進）
七、九六一　菊地眞衛（新日本）
七、七四九　江島博（自）
七、三三六　新妻清一郎（日進）
六、四六九　阿部敬喜（無）
六、二八四　松盛治（無）
五、二八四　清水清見（勤農）
四、七九七　芳賀壽司（無）
四、一三五　渡邊文三郎（無）
四、〇五二　小島龜太郎（無）
三、九一九　風間誌一郎（協）
三、七六七　田中義迪（革）
三、五一七　白岩龜雄（無）
三、二八一　八代義定（無）
三、二〇八　藤田市助（進）
二、六三六　鈴木要助（無）
二、〇六五　佐久間榮（無）
一、八四二　長島菊苗（無）
一、六六四　坂本福義（無）
一、五一三　梅谷芳光（無）
一、四四〇　長谷部靜（自）
一、三七〇　竹内平八（無）
一、二二三　瀬戸八郎（無）
六〇四　宮下庄太郎（協）
四一八　穂積秀博（新日）
一二五　大橋市三郎（新日）

亂立の祟りは顰面に

豫見通り市郡の候補共倒れ

最低二名獲得も今は全く夢

新代議士十三名も決定、三旬に亘り激烈を極めた戦塵も全くお鎮まり、こゝに平和民主日本再建の第一歩は雄々しくも踏み出された、靜かに過ぎ去りし跡を顧みると幾多數へらるゝものがある、第一に縣下大郡の三郡振りからの票を有する平、石城の天地から僅かに星一氏一名を新議會へ送り出したのみ、然し星氏は錦町出身とはいへ、平素東京に定住して居り選擧中のみ石城、平の天地に歸つて來る人で當選の曉は再び東京に赴いてしまふのであるから實質的には既に石城の人とは考へられぬ、從つて關内氏のすべり落ちにより結局本社が二月二十一日付の第二號で逸早く豫見した通り石城平地區は全候補共倒れとなつてしまつたといへる、これは何等の信念もなく又何等の希望もなく、たゞ爭はむがために、或は資名的に、他候補の妨害のために、選擧民も、新日本再建も頭から度外視して、有象無象も猫も杓子も立候補したがために深く〳〵反省せねばならぬ事である、あの小さな兩白河から國谷、鈴木兩代議士を、然も首位と二位の好成績で當選せしめたことは、如何に國谷氏が縣下全域員の支援を受けたといへ、又鈴木氏が如何に新興勢力の波に乗り全縣的に戰つたといへ、萬一この亂立をみなかつたら平、石城の天地から最低二名、巧くゆけば三名の代表を新議會の議

政壇上に立たしめ得たことは有權者からみても明白な事實なのに、遂にこれを見果てぬ夢と化せしめたことゝ、を比較してみる時は悔ひても悔ひ足らぬ思がある、今後はかゝる無謀さを極力避けねばならない、かくしてこそ新日本建設の目的も達し得ると共にひいては、石城、平の天地に黎明を招來することになるのである点を、この際はつきりと各自明記すべきであらう

選擧道德を無視

激烈を極めたポスター戰

候補の亂立に伴つてポスター戰の激しかつたこと、平市内は勿論郡下の主要町村は文字通りポスターの氾濫で、殊に市内目抜き通りの常陽銀行支店を始め到るところの塀や壁が宛然ポスターで造られたやうに、ところ嫌はずベタ〳〵貼られてゐたことは余りにも見苦しい限りであつた、尚貼り方も殆んど無秩序でポスターは圖案と共にその貼り方も殆んど無秩序で全般的には四萬票を超え、當初全縣的に三萬五千票餘が當選圏と見られてゐるのであるから、關内氏としては豫定通りの得票

ぬのに、その上に他候補が故意に貼つたり、折角のポスターを破つたりしてゐるのを屢々見受けたのは、選擧妨害であるばかりか、選擧道德の無視も甚しく

縣の發表態度は無責任も甚し

嚮々たる非難に包まる

榮光に輝くべき總選擧も、縣地方課の誤算からラジオや新聞により當選者確定が報じられてから中一日を置いて、十三日午後に至りどん轉返しとなり十二位の關内正一氏と十三位の八百板正氏が落選、鈴木周次郎、星一の兩氏が當選の榮をになふことになつた、たゞ誤算の一語であつさり片付け得る問題であらうか、苟しくも縣地方課長が非公式ながらも〝當選決定〟と發表しながらこの始末はどうしたことなのであらう？　責任の地位にある縣地方課長たるものが何故に未だ確定せざるものを、例へ非公式といへ〝決定〟とか〝暑確定〟の文字の下に發表したのか無責任も甚しい、鈴木、星兩氏の支持者たる有權者は喜ばせたかも知れぬが、その反面に於て八百板、關内兩氏を支持する多數の有權者を失望のどん底

縣の誤算から當選の萬歳に包まれながら僅か一日で落選のどん底に突き落された關内正一氏の敗因は何處にひそんでゐたか、平市民と石城郡民の絶大な興望をになひ、平市一萬一千票の投票者の中から絶對多數の七千二百六十六票を獲得、郡下から又二萬四千余票の壓倒的支援を受け、郡外からも九千票近くを得全縣的には四萬票を超え、當初全般的に三萬五千票餘が當選圏と見られてゐるのであるから、關内氏としては豫定通りの得票

關内氏の敗因は

小名濱の得票違算か

關内落選に市民憤激

雪辱を期して翕然同情集る

平市では七千二百余票といふ大多數が『我等の關内を落すな』と投票してゐるだけに落選との報に接するや失望落膽、十三日午後から憤激して眞疑を確めるために駈付ける市民で一時は門前市をなす有様で、必ずこの雪辱を期せと早くも翕然たる同情に包まれてゐる、尚關内氏も市民のこの同情にいたく感激してゐる

〝民主〟の文字が泣いた、候補の中には戰後可畏に勞務者を〜

ぬのに、その上に他候補が故意に貼つたり、折角のポスターを破つたりしてゐるのを屢々見受けたのは、選擧妨害であるばかりか、選擧道德の無視も甚しく

反して嬉しい限りである

配給強化のただ一途

だぶついたお金を凍結して遮二無二低物價をねらつた今度の新圓生活の强要は物價の低下にどれ程効果があつたらうか？　ます〳〵苦しくなる家計簿に各家庭とも悲鳴を擧げてゐる現狀だ、では今後の新圓生活はどうする？　それは强力な配給の裏付がもつとも必要であり是非とも實行して貰はなくては困る重要な問題である、以下生活必需品たる木炭、味噌、醬油等の現在の配給狀況を探つて見ると次の如く何れも相當尠い配給量ではある——

然し相變らず物の尠い嘆き

味噌

移入に全力を傾注

輸送用の樽も三百新造する

滿洲大豆の輸入拒絶と鹽の不足で今後の需給豫想は益々困難である、二月までは一人百八十匁の配給量を三月に入ると百匁に減つてお台所を弱らせた、石城地方の味噌事情は殆んど移入味噌に依存する關係から輸送難を冒し毎月やり繰りの狀態、平地區統制組合では容器の整備を圖つて輸送の萬全を期すべく今度輸送用樽三百樽を新造したが、會津から一萬貫、栃木縣から六千貫入荷の豫定、これだけの入荷があつても規正の百八十匁配給を續けるとストックが切れるので三月は配給量を減らしたがこれでもまだ郡内の處に依つては二月分の配給を四月に入つてから受ける始末とある

醬油

增配見込なし

但し野田上物が入荷

一人二合の配給量が三月に入ると八勺となつた、これは龜甲萬の有名品で上質のものは純度から云つて四割減の計算で配給する關係からだが、醬油も今後增配の傾向はない、ただ近く千葉縣から野田醬油が一車入荷するので量は減るが上質なものの配給がある、お醬油の絶對量の不足は各家庭で創意工夫し配給にばかり依存せず補つて欲しいもの

木炭

割當は前年同樣

郡部より市部へ重点を

郡内で自給自足の出來るのはお魚を除いては木炭だけ、今年は前年度同樣の割當數量で臨む方針だが、特に平市は郡部と比較して振合は非常に良い、市役所では今後の生産と入荷狀況に應じて圓滑な配給を實行する豫定、一方郡部の木炭配給は相當減ぜられてゐるが、これに付いて地區統制組合では『郡部の町村は燃料の自給がある程度可能です、各家庭とも動けば附近の山からでも焚木が拾へるし、そうした郡部の皆樣に平棒願つても郡會の方へ少しでも余計廻して上げるやうにしたいものです』と語つてゐる

酒

期待出來ず

新配給計劃は？

今までの配給では一戸五合位あつたのに三月の配給は燒酎僅かに一合きり、花見の四月分は今のところ新年度分になるので新らしい配給計畫が出來上らない限り見透しがつかない、とに角酒屋さんの在庫はないらしいから期待出來ず心細い

投票成績は

意外に良好

平市の棄權率は平均二割五厘、石城郡もまた次の如く平均二十六%一、男十九%九、女二十六%一で全般的に良好だつたが、うち田人村の四十一%四、大野村の三十二%四、内郷町の三十二%など山農村が比較的惡かつた、なほ内郷町と同じ炭礦街でも湯本町は十五%三で一番棄權率が尠なかつた

▽有權者、男五萬二千四十三、女六萬六千、計十一萬八千四十三

▽棄權、三万八百七十五、男一萬三百六十二、女二萬五百十三

八百板正氏

斷乎抗議

誤算に疑問あり　再調査すべしと

當選者どん轉返しを生んだ原因は縣地方課の得票計算の誤算に依るものとあるが、南會津郡で三千五百余票と發表されてゐた星一氏が急に五千余票も增加したのや、最低位當選者と次點者の入れ違へ程度ならば兎も角、二名宛の入替へをみたに至つては余りにも甚しい誤算であるので、この違算に疑問を抱いた社會黨八百板正氏は斷然再調査を申請、場合に依つては當選無効の訴訟をも提起する意向で十三日夜急據電話を以つて關内氏に共同の申入れをなして來た

關内氏は自由黨縣支部の幹事長の立場もあり、且つ敗れしものならば潔く敗れんと次回を期する固い信念の下に、この際鬪爭的なことは避けることゝなつた然しこの八百板氏の抗議に對する結果は各方面から頗る重視注目されてゐる

海外引揚者磐城聯盟

廿日頃に慰安と結成式

魁け海外引揚者磐城聯盟を結成、續々引揚げて來る可哀想な人達の相談相手として自主的に乘出すことになつた、尙花の二十日前後に慰安會を兼ねて結成式及び總會を平市に開催する豫定で、當分は平市役所厚生課内に事務を執るが前記目的達成のため、總務部、企畫部、厚生部の三部を設け就職斡旋、資金の貸與等にまで乘出すことになつてゐる

鈴本重雄（華北）　山崎金太郎（香港）　緣川三代吉（華中）　松井淳（滿洲）　高野正（蒙疆）　大野友春（朝鮮）　柴崎金三郎（華中）　大越隼雄（華中）

低調極めた

演說會

マネキン利用も

全く失敗に歸す

演說會は各派とも相當數開いたが、選擧民が食生活に追はれて殆んど低調であつたことは自分達の代表を選ぶべきに、演說も聽かぬのは選擧民の無自覺さをさらけ出すも甚しかつた、たゞ演說會のかはり座談會は到る處眞劍味が溢れてゐるのは一面選擧民の一部に『政治は自分達のもの』との觀念が生れて來てゐる點をもの語るものであり市、郡通じての投票成績が豫想を裏切つて遙かに良好であつたのと共に、民主日本の首途を飾るに足るものがあつたといへやう、又演說會に徒らに名の賣れた人間をマネキン的に利用する傾向が多かつたにも拘らず、その効果は別段になかつた点も一考を要すべきである

青年座の初公演

廿三、四兩日聚樂館で

日本青年文藝倶樂部員で結成する〝青年座〟の旗上げ公演は、海外引揚げ同胞救濟資金募集を兼ねて來る二十三、四の兩日平市聚樂館で、毎日午后六時から開演することに決定した、プロは平野天兵脚色、水谷晃演出の〝吹けよ春風〟一幕と川内潔士作演出の〝遺書〟一幕三場とある

終戰に奏でる

結婚譜

一日に四件平均

春にをくる結婚調査書——複員と挺身隊の解散で男女青年の歸郷は一度に殖へて來たが、偖てこの若い人達の結婚はどんな風に進んでゐるのだらうか？平市役所戸籍係に婚姻届狀況と配給係のお目出度の特配申請書に依つて調べて見ると次の如く戸籍上は戰時中より尠くなつてゐるが配給面では大部多くなつて來た、結局これは實質的に增加してゐることを物語つてゐる譯

【戸籍係の話】　數字の上から見ると一月は昨年の廿六組に對し十六組、二月は廿四組に十九組、三月廿七組に對し十七組、四月に入つては五日現在で昨年の六組に對し五組と何れも尠なくなつてゐる、戰時中は男であれば戰場へ臨むので一應戰死することも考へ結局戸籍上の形式的な婚姻届が多かつた譯で、終戰に依りそんな心配もなく、むしろ手續が面倒臭くて届出を放つて置く傾が强くなつて來た、だから正確な數字は明かでないが、事實は相當殖へてゐると思ひます

【配給係の話】　日曜と旗日を除いて日に平均四件は結婚に依る特配申請があり俄に多くなつて來たので驚いてゐます

東北配電の

家族慰安會

東北配電株式會社平營業所では來る十八日午前十時から雷神樣のお祭に因んで全從業員の家族慰安大會を開くが、出演者も從業員の手で、會場も全所事務所を取り片附けて造る等市街の明朗化に努力して居る從業員への心からの慰安に苦心してゐる

富士興業の

鬪爭解決

經營協議會設定

平市富士興業磐城工場勞組ではかねて團体交渉權の承認、合理的最低生活の保證、封建的人事の徹底打破、等々六項目の要求書を提出、就業鬪爭を開始してゐたが、去る五日付で池松所長を通じ會社側の回答書が到達、組合側の要求は殆んど全面的に容れられた、組合側ではこの會社側の誠意に酬ゆるために一層增産に挺身することを申合せた尙同工場では今後の經營の萬全を期するために會社と勞組との最高連絡協議機關として經營協議會をも設定することに決した、尙生活保證金の支給額は左の如くに決定された

▼男子有家族四十才以上四五〇圓▼三十五才以上四〇〇圓▼三十才以上三五〇圓▼二十五才以上三〇〇圓▼二十五才未滿二五〇圓▼全獨身者三十才以上二五〇圓▼二十五才以上二〇〇圓▼女子有家族者三十歲以上三〇〇圓▼二十五歲以上三五〇圓▼二十歲未滿二〇〇圓▼全獨身者三十歲以上二五〇圓▼二十五歲以上二〇〇圓▼二十五歲未滿一五〇圓▼皆習十九歲未滿一〇〇圓

生活苦反映

平市の無効投票

勿体ない無効投票は相變らず跡を絶ない、これを平市に拾つて見ると六十七票で内譯次の通りはいからなローマ字を使用したもの二票、白紙の儘投票したもの一票・『先づ米、味噌醬油』と書いたものを始め、『之自分の名を書いたもの、』より下級階級を見て下さい』等と書いたものもあつた

市の名簿脫落

平市の名簿脫落は次の如く合計九百八十五件に達した

▽死亡したもの、百廿名▽歸國した朝鮮人十九名▽轉出その他八百四十六名

優良藥品特配

縣では戰災者並に外地引揚者の不便に鑑み各種優良藥品を特別配給する事に決定、去月十八日附で縣小賣藥業統制組合より指定販賣店に送附、平市では關内藥店、小野藥局が指定され四月から賣り出した、購入者は罹災證明書又は外地證明を持參すれば良く、期間は五月三十一日迄とある、

富士興業

全燒

損害七十五萬圓

十四日朝四時平市田町富士興業株式會社磐城工場（聯合軍接收指定工場）から發火、工場、事務室、倉庫と隣接の平勤勞者員小林保氏（四二）居宅の五棟玄冬燒した、損害七十五萬圓、原因はストーブの不始末

專賣局所長更迭

平專賣局出張所長は前所長阿久津一氏の勇退に伴ひ金田久助氏が所長心得を命ぜられて居たが十一日附で被免、新任所長は若松專賣局の野口松雄氏と決定した

小名濱町

局長更迭

小名濱郵便局長は鈴木良男氏の退官に伴ひ仙臺遞信局工藤信氏に決定、同氏は一日着任した、なほ主事奥山金助氏も同日退

社告

五月一日より日刊に躍進

本紙は創刊以來印刷設備の不完全から讀者諸子に尠からず御迷惑をおかけしてゐましたが、工場の準備成り、愈々五月一日から日刊紙に飛躍し御期待に添ふて新發足することになりました

漸定處置として今月中は二頁建の週間に更めますが、併せて御諒承の上一層の御支援賜らんことを切望致します

いわき民報社

牛肉・御料理
石川亭
平市田町　電四三番